

開校記念式 代表の言葉

みなさん、おはようございます。きのう1月8日は、調布大塚小学校の開校記念日でした。学校ができてから83年がたったのです。さて、調布大塚小学校ができて83年たった今、この学校の良さは何だと思えますか。私は『人と人との関わり』が、この学校の良さだと考えています。

まず、『地域の方々との関わり』です。お祭りのとき、沢山のお店を出してくれたり、町探検で、私たちの学習や笑顔のために、沢山の方々が協力してくれます。今、こうして、深い学習ができるのも、地域の方々の支えや協力があってこそです。また、今、校内では、『他学年との関わり』をたくさんもつようにしていますね。縦割り班活動や、委員会体験会など、他学年と関わることをたくさん設けているのも、この学校の良さを『人と人との関わり』と考えているからです。

様々な歴史を経て、たどり着いた今、そしてこれからの未来。この機会に調布大塚小学校が、どんな学校になってほしいかを考えてみました。そこで浮かんだのは、『校舎からあふれ出るような、元気と希望に満ちた学校』です。『人と人との関わり』を活かし、地域の人にも、はじめてこの地域に引っ越してきた子どもにも、みんなに元気を与え、希望を持ってもらえる。そんなきっかけになる学校をつくっていきたいです。そのためにも、今、周囲の人のために自分ができることは何かを考え、精一杯力を尽くしながら、日々生活していきましょう。

改めて、開校記念日は、一年に一度の大切な歴史ある日です。今もこれからも、この学校の良さ、『人と人との関わり』を大切にしながら、伝統をつないでいきましょう。